

平成 30 年度入学試験の出題意図・出題内容

1. 筆記試験

1) 専門基礎科目

摂食・嚥下障害に関する基礎知識を確認するために、正常嚥下の生理、脳神経系の解剖生理、摂食・嚥下障害の原因となる疾患の病態等に関する問題を出題した。

受験生全体の平均得点 : 64.9 ± 15.2

合格者の平均得点 : 69.7 ± 13.2

問題	出題内容	出題形式	配点
1	脳神経系・脳血管系の解剖生理	MCQ (想起レベル)	40
	脳の機能局在	MCQ (想起レベル)	
	脳神経系フィジカルアセスメント	MCQ (想起レベル)	
	口腔・咽頭・喉頭・食道の解剖生理	MCQ (想起レベル)	
2	正常嚥下のプロセス	MCQ (想起レベル)	30
	摂食嚥下アセスメント	MCQ (想起レベル)	
	呼吸管理	MCQ (想起レベル)	
	栄養管理	MCQ (想起レベル)	
	その他の嚥下機能関連因子	MCQ (想起レベル)	
3	摂食嚥下障害の原因となる疾患・症状	MCQ (想起レベル)	30
	・脳血管障害		
	・高次脳機能障害		
	・神経・筋疾患		
	・頭頸部がん		
	・小児疾患		
	・高齢者		
	・認知症		
	・薬剤		
	・呼吸器疾患		

※MCQ：多肢選択問題

2) 専門科目

摂食・嚥下障害看護や臨床での看護実践に必要な基礎医学知識、及び情報解釈に基づく論理的なアセスメント能力を確認するために、摂食・嚥下障害事例を提示し、判断や援助方法を問う問題を出題した。

受験生全体の平均得点 : 68.6 ± 10.3

合格者の平均得点 : 71.5 ± 8.4

問題	出題内容	出題形式	配点
1	摂食・嚥下障害の原因となる疾患	MCQ (想起・解釈・問題解決レベル)	25
	呼吸器疾患 事例		
2	脳血管障害 事例	MCQ (想起・解釈・問題解決レベル)	20
3	神経・筋疾患 事例	MCQ (想起・解釈・問題解決レベル)	15
4	悪性新生物 事例	MCQ (想起・解釈・問題解決レベル)	15
5	認知症 事例	MCQ (想起・解釈・問題解決レベル)	15
7	小児 事例	MCQ (想起・解釈・問題解決レベル)	10

※MCQ：多肢選択問題

3) 小論文試験

客観的なデータを読み取り、その結果を示す能力や、論述する能力を問う出題とした。

2 面接試験

3 題の設問の提示により構造化面接を行い、①リーダーシップ、②態度、③理解力・表現力、④意欲、⑤社会適応性を評価した。